

令和元年 逗子市議会 第4回定例会 陳情文書表

令和元年11月28日

区分	受理年月日	件名	提出者	要旨	付託委員会
陳情 第11号	R1. 9. 10	「主権者教育の推進」に関する陳情	逗子市逗子7-10-17 工藤 純一	主権者教育を議会でどう進めるべきか、議会としてできることは何か、課題として取り組み、主権者教育の在り方を市民と共に考える契機とすることを切望する。	議会運営
陳情 第12号	R1. 9. 12	「令和元年度逗子市議会議会報告会」に関する陳情	逗子市逗子7-10-17 工藤 純一	令和元年11月25日に開催される議会報告会ではテーマを一つに絞り、子育てに関心のある方からのみの参加を募集している。子育てに関心のある方々から直接意見を聞く場とするならば、逗子市議会基本条例第6条で定められた議会報告会ではなく、意見交換会として開催することを切望する。	議会運営
陳情 第13号	R1. 10. 30	安全・安心の医療・介護の実現のため夜勤改善と大幅増員を求める陳情	横浜市中区桜木町 3-9-3階 神奈川県医療労働組合連合会 執行委員長 古岡孝広	安全・安心の医療・介護の実現のため、次のとおり国に意見書を提出するよう切望する。 1 医師・看護師等の夜勤交替制労働における労働環境を改善すること。 (1) 1日かつ一勤務の労働時間8時間以内を基本に、労働時間の上限規制や勤務間のインターバル確保、夜勤回数の制限等、労働環境改善のための規制を設けること。 (2) 夜勤交替制労働者の週労働時間を短縮すること。 (3) 介護施設や有床診療所等で行われている1人夜勤体制をなくし、複数夜勤体制とすること。 2 医師・看護師等を増員すること。 3 患者・利用者の負担軽減を図ること。 4 費用削減を目的とした病床削減は行わず、地域医療に必要な病床機能を確保すること。	総務常任

令和元年 逗子市議会 第4回定例会 陳情文書表

令和元年11月28日

区分	受理年月日	件名	提出者	要旨	付託委員会
陳情 第14号	R1. 10. 30	介護施設の人員配置基準の引き上げのために、国に対し意見書の提出を求める陳情	横浜市中区桜木町 3-9-3階 神奈川県医療労働組合連合会 執行委員長 古岡孝広	介護制度の真の持続性を確保するため、次のとおり切望する。 1 特別養護老人ホーム等の人員配置基準を定めた条例を改正し、介護職員及び看護職員の人員配置基準を実態に見合った水準に引き上げること。 2 次の項目について国に対し、意見書を提出すること。 (1) 介護施設の介護職員及び看護職員の人員配置に関する基準省令について、実態に合わせ、利用者2人に対して1人以上に引き上げること。 (2) 厚生労働大臣が定める夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準を見直し、夜間勤務者の配置水準を引き上げ、1人夜勤は解消すること。 (3) (1)、(2)の項目を保障するため、介護報酬の引上げを行うこと。保険料負担、自治体負担を軽減するために、介護保険財政における国の負担割合を大幅に引き上げること。	教育民生常任
陳情 第15号	R1. 10. 31	「逗子市議会基本条例」の「議会報告会」に関する陳情	逗子市逗子7-10-17 工藤 純一	市議会ホームページの議会報告会の説明にあるとおり、各議員は逗子市議会基本条例にのっとり、議会活動を行い、その結果を議会報告会で報告するよう切望する。	議会運営
陳情 第16号	R1. 11. 19	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	横浜市中区桜木町 3-9 横浜平和と労働会館 4階 神奈川私学助成をすすめる会 代表 長谷川 正利	私学に通う生徒・保護者の学費負担の軽減及び私学教育本来の良さを一層発揮させる教育条件の維持と向上を図るため、私立高校の本当の意味での無償化はまだ達成されておらず、これからの動きにかかっている。憲法、教育基本法及び子どもの権利条約の理念に基づいて、私学助成の一層の充実を図るよう、国に対して意見書の提出を切望する。	教育民生常任

令和元年 逗子市議会 第4回定例会 陳情文書表

令和元年11月28日

区分	受理年月日	件名	提出者	要旨	付託委員会
陳情 第17号	R1. 11. 19	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館4階 神奈川私学助成をすすめる会 代表 長谷川 正利	教育の無償化を進めることで、全ての子どもたちの学ぶ権利を保障することは重要であり、また、私学助成の抜本的な改善によって私学経営の安定を図り、保護者の学費負担を軽減することは、県政の急務であるため、憲法、教育基本法及び子どもの権利条約の理念に基づいて、私学助成の一層の充実を図るよう、神奈川県に対し、意見書の提出を切望する。	教育民生常任
陳情 第18号	R1. 11. 20	国に対して福祉職員の大幅な増員と賃金の引き上げを求める陳情	横浜市神奈川区松本町6-45-2-401 全国福祉保育労働組合神奈川県本部 執行委員長 柴田 さゆみ	憲法第25条に基づき、国と自治体の責任で、保育や介護等福祉職員の大幅な増員と賃金の引上げが可能となるよう、次のとおり国に対して意見書の提出を切望する。 1 福祉職場の職員配置基準を抜本的に引き上げ、その配置基準と労働基準法を守ることができる予算及び人件費を保障すること 2 全ての福祉職員の賃金を引き上げ、全産業平均との月約10万円の格差をなくすこと	教育民生常任
陳情 第19号	R1. 11. 25	「エコ広場ずし」の存続に関する陳情	逗子市久木3-9-21 逗子ゼロ・ウェイストの会 共同代表 田中 尚武	エコ広場ずしを市民交流センターから退去させる市の方針に基づき締結した協定書では、令和2年2月29日までに原状回復し、令和2年度以降のゼロ・ウェイスト政策全体の推進に向けて、活動の継続に向けた協議、及び協議の結果を受けた実践活動を両者が対等な立場で実行するとしており、その具体的な内容は市民交流センターの原状回復の期日までに別途定めるとされている。ついては、エコ広場の継続を切望する。	総務常任

令和元年 逗子市議会 第4回定例会 陳情文書表

令和元年11月28日

区分	受理年月日	件名	提出者	要旨	付託委員会
陳情 第20号	R1. 11. 25	徳川16代当主家 達の旧別邸(郷土 資料館)等の存続 を求める陳情	逗子市池子3-10-12 石井 昭子	蘆花記念公園内の徳川旧別邸をはじめとした木造建築群 は、時を経るごとに文化的価値が増しており、後々まで継 承すべきであるため、修繕と存続及び利活用について、市 がしっかりと政策化するよう切望する。	教育民生常任